

2016年度 第2四半期決算

2016年11月1日
住友商事株式会社

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

1. 経営成績

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位: 億円)	2015年度 第2四半期実績 ①	第1四半期 単独	第2四半期 単独	2016年度 第2四半期実績 ②	前年同期比 ②-①
当期利益	1,293	227	431	658	△636
基礎収益*1	1,201	411	509	920	△281
うち、資源ビジネス*2	75	△60	27	△33	△108
うち、鋼管事業*2	25	△21	△44	△65	△90
うち、その他非資源	1,100	491	526	1,018	△82
一過性損益	約 200	約 △140	約 △30	約 △170	約 △370

〈 2016年度第2四半期実績(前年同期比) 〉

- **資源ビジネス・鋼管事業** : ✓ 資源価格下落の影響により減益
- **その他非資源** : ✓ 船舶事業 減益 (海運市況低迷)
✓ 自動車販売事業 減益 (新興国市場低迷)
✓ メディア・生活関連 国内主要事業会社 堅調
- **一過性損益** : ✓ (当期) ポルビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当*3等あり
✓ (前期) 資産入替に伴うバリュー実現 等あり

(参考) 主要指標	2015年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績
為替 (YEN/US\$)	121.87	105.25
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.13%
	LIBOR 6M(US\$)	0.46%
銅※ (US\$/MT)	5,935	4,699
亜鉛 (US\$/MT)	2,018	2,084
ニッケル (US\$/lb)	6.21	4.33
鉄鉱石 (US\$/MT)	57	58
原料炭 (US\$/MT)	102	88
原油	Brent※ (US\$/bbl)	58
	WTI (US\$/bbl)	52

*1 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

*3 ポルビア銀・亜鉛・鉛事業において、源泉税に係る税引当△109億円を計上

* ※印の商品は1-6月、その他の商品は4-9月の価格を記載

* 原料炭…強粘結炭(市場情報に基づく一般的な取引価格)

2. キャッシュ・フロー／財政状態

● キャッシュ・フロー実績

(単位：億円)

	2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期
営業活動	+2,237	+1,750
投資活動	△1,165	△265
フリーキャッシュ・フロー	+1,073	+1,485
		▽
キャッシュ・イン	基礎収益キャッシュ・フロー* 減価償却費 資産入替による回収 その他の資金移動	+1,039 +553 約 +500 約 +500
キャッシュ・アウト	投融資実行	約 △1,100

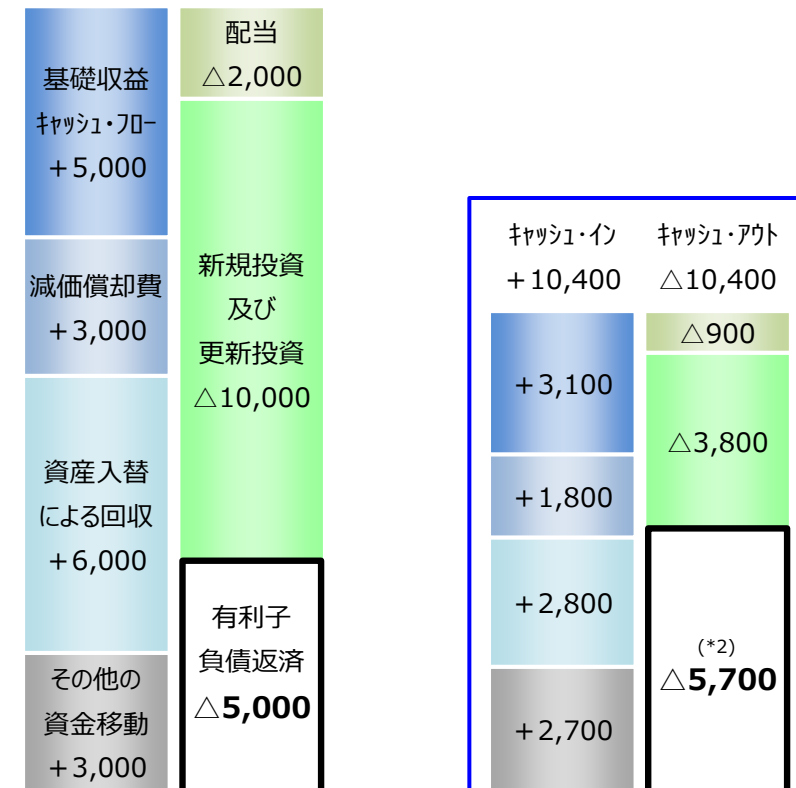
* 基礎収益キャッシュ・フロー = 基礎収益 - 持分法による投資損益 + 持分法投資先からの配当

〈 2016年度第2四半期 〉

- **基礎収益キャッシュ・フロー**
 - ✓ J:COM、三井住友ファイナンス&リースからの配当等)
- **資産入替による回収**
 - ✓ 米国タイオイル 南部地域売却 等
- **投融資実行**
 - ✓ 米国オフィスビル取得
 - ✓ 英国洋上風力発電事業参画 等

(参考) BBBO2017^(*)キャッシュ・フロー計画進捗

キャッシュ・イン キャッシュ・アウト (単位：億円)



3年合計計画

(2015年4月～2018年3月)

累計実績

(2015年4月～2016年9月)

(*) 当社は、2015年4月～2018年3月の3か年を対象とする現行の中期経営計画「Be the Best, Be the One 2017(BBBO2017)」において、3年合計で配当後フリーキャッシュ・フローを5,000億円確保し、回収した資金で有利子負債を返済する計画としております。

(*) 配当後フリーキャッシュ・フロー累計実績のマイナス値を記載しております。

● 財政状態

2015年度末		2016年度第2四半期末	
総資産 7.8兆円		総資産 7.3兆円	
流動資産 3.4兆円	その他の負債 1.9兆円	流動資産 3.2兆円	その他の負債 1.8兆円
	有利子負債 3.7兆円		有利子負債 3.4兆円
非流動資産 4.4兆円	(現預金Net後) 2.8兆円	非流動資産 4.1兆円	(現預金Net後) 2.6兆円
	株主資本* 2.3兆円		株主資本* 2.1兆円
D/E Ratio(Net) : 1.2		D/E Ratio(Net) : 1.2	

〈 2016年度第2四半期増減 〉

- **総資産 △4,976億円**
(78,178億円→73,203億円)
 - ✓ 円高の影響による減少
 - ✓ 営業債権減少 等
- **株主資本 △1,723億円**
(22,515億円→20,792億円)
 - ✓ 円高の影響による減少 等

* 株主資本…資本の内、「親会社の所有者に帰属する持分合計」

3. 2016年度 通期見通し

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位:億円)	2016年度 期初予想 (2016年5月) ①	第2四半期実績 ②	2016年度 通期見通し (2016年11月) ③	期初予想比 ③-①	進捗率 (対通期見通し) ②/③
当期利益	1,300	658	1,300	±0	51%
基礎収益^{*1}	1,500	920	1,800	+300	51%
うち、資源ビジネス ^{*2}	△400	△33	△100	+300	-
うち、鋼管事業 ^{*2}	0	△65	△100	△100	-
うち、その他非資源	2,000	1,018	2,000	±0	51%
為替の影響	△100	-	-	+100	-
一過性損益	約 △200 ^{*3}	約 △170	約 △400 ^{*3}	約 △200	-

〈 2016年度通期見通し 〉

- **資源ビジネス** : ✓ 資源価格が期初想定を上回って推移
- **鋼管事業** : ✓ 北米鋼管事業 減益
- **その他非資源** : ✓ 電力新規大型案件 開発及び建設の進捗遅れあり
✓ 船舶事業、自動車販売事業 減益
✓ リース事業、メディア・生活関連国内主要事業会社等 堅調
- **一過性損益** : ✓ ポルビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当等 あり
✓ 体質改善コスト(約△200億円)は据置

(参考) 主要指標	2016年度 期初予想	第2四半期実績	2016年度 通期見通し
為替 (YEN/US\$)	110.00	105.25	100.00
金	LIBOR 6M(YEN)	0.00%	0.00%
利	LIBOR 6M(US\$)	1.00%	1.10%
銅※	(US\$/MT)	4,589	4,699
亜鉛	(US\$/MT)	1,800	2,084
ニッケル	(US\$/lb)	3.92	4.33
鉄鉱石	(US\$/MT)	50	58
原料炭	(US\$/MT)	80	88
原油	Brent※ (US\$/bbl)	48	40
	WTI (US\$/bbl)	46	45

*1 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

*3 期初予想/通期見通しにおける一過性損益は、体質改善コスト(戦略的に資産入替を実行する為の費用。約△200億円)を含む

* ※印の商品は1-12月、その他の商品は4-3月の価格を記載

* 原料炭…強粘結炭(市場情報に基づく一般的な取引価格)

4. 2016年度 セグメント別通期見通し(グローバルベース*1)

(単位:億円)	2016年度 期初予想 (2016年5月) ①	第2四半期 実績	2016年度 通期見通し (2016年11月) ②	増減 ②-①	<主な概要>
金属	130	20	80	△50	・北米鋼管事業 減益 ・海外スチールサービスセンター事業 堅調
輸送機・建機	530	230	470	△60	・海運市況 低迷、新興国市場 低迷 ・リース事業 及び 米国建機レンタル事業 堅調
環境・インフラ	390	102	260	△130	・電力新規大型案件 開発及び建設の進捗遅れあり ・海外発電事業 堅調
メディア・生活関連	670	321	720	+50	・国内主要事業会社 及び 不動産事業 堅調
資源・化学品	△180	△127	△60	+120	・資源価格が期初想定を上回って推移 ・ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当あり
合計	1,540	547	1,470	△70	
非営業等	△240	111	△170	+70	・期初予想に織り込んだ為替の影響 (約△100億円)を取崩 *2
連結	1,300	658	1,300	±0	

*2 為替の前提(YEN/US\$)

期初予想(2016年5月) : ¥110。但し、非営業等を除くセグメントは¥120を使用し、非営業等にて △¥10を調整。

通期見通し(2016年11月) : ¥100。全てのセグメントで¥100を使用。

*1 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

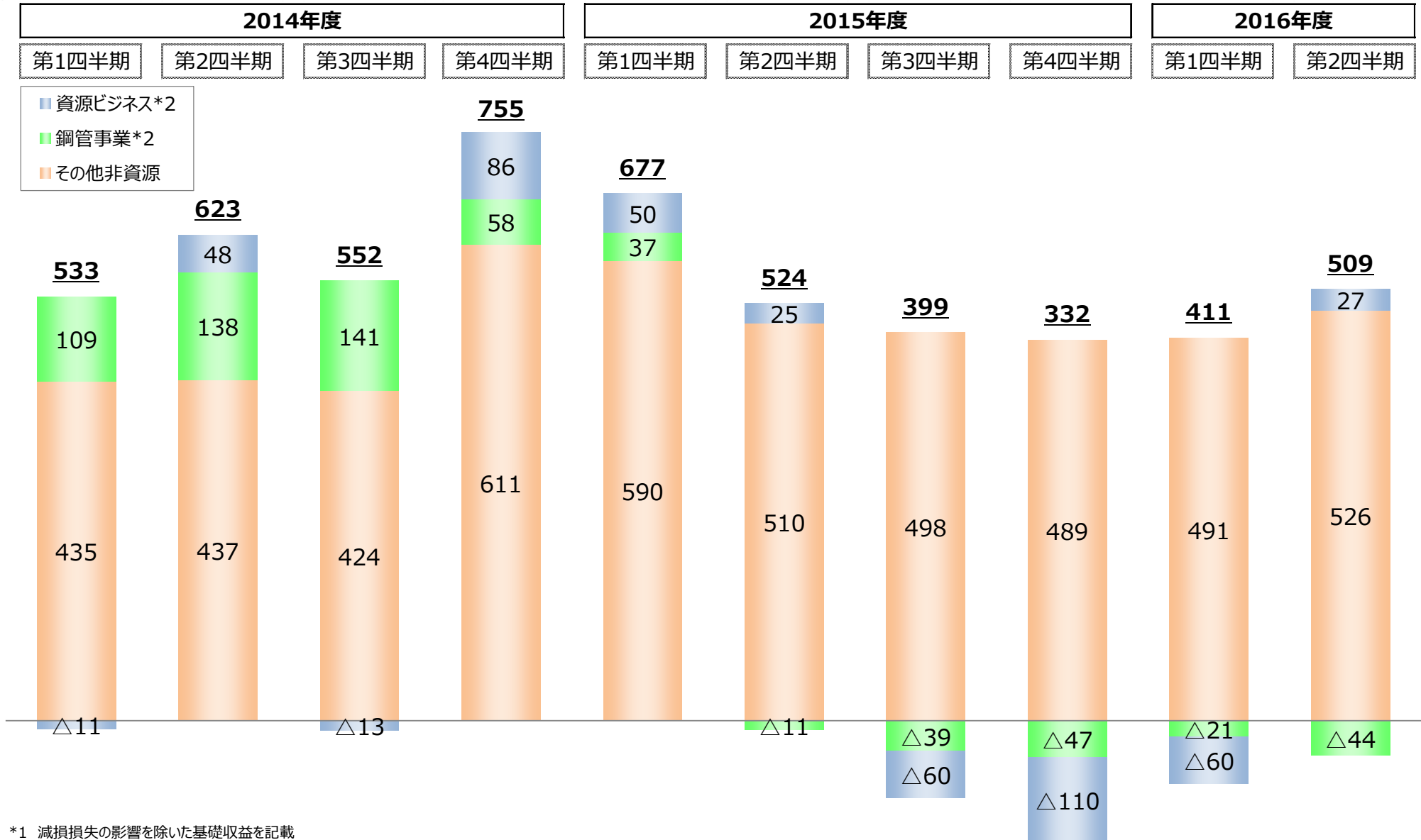
基本方針	長期にわたり安定した配当を行うことを基本方針としつつ、中長期的な利益成長による1株当たりの配当額増加を目指す。
BBBO2017 配当方針	年間配当金 50円/株を下限とし、連結配当性向25%以上を目安に、基礎収益やキャッシュ・フローの状況等を勘案の上、配当額を決定。
2016年度 配当額	中間25円/株 期末25円/株（予定）

Appendix

6. 基礎収益*1 四半期推移

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位：億円)



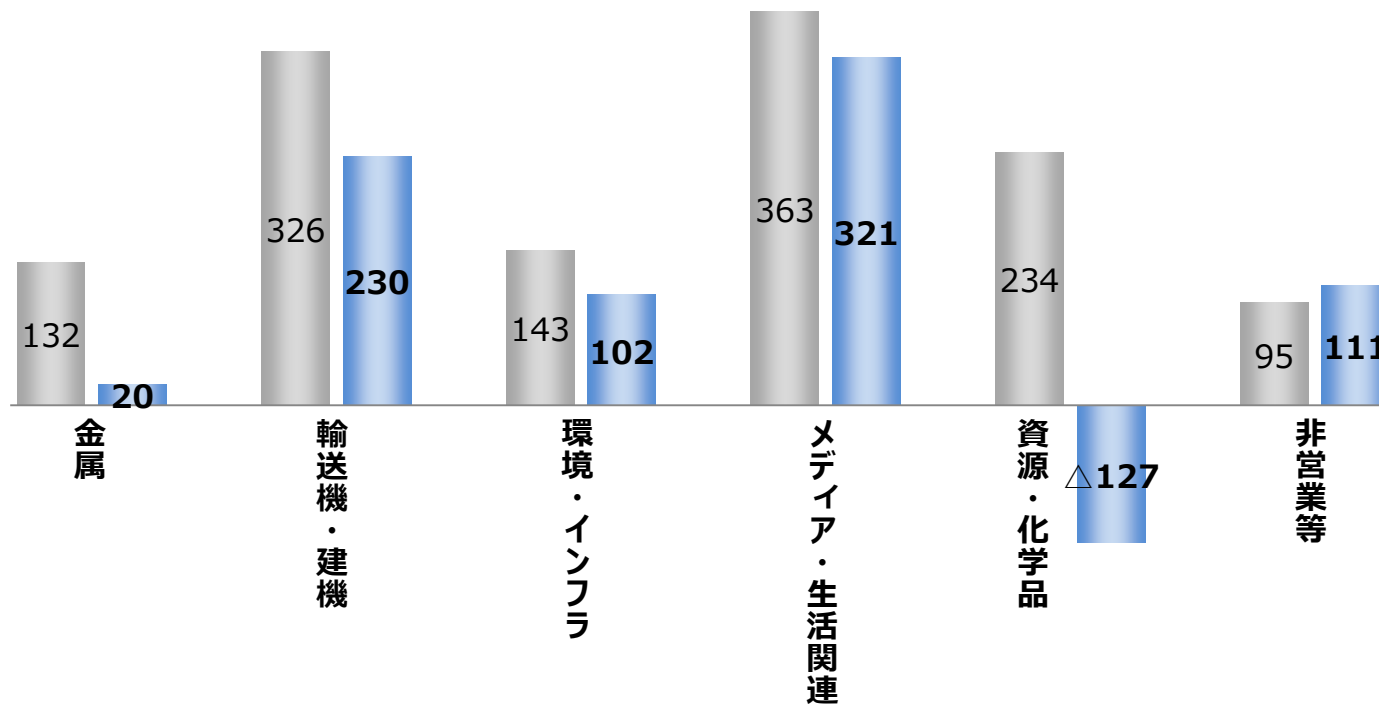
*1 減損損失の影響を除いた基礎収益を記載

*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

7. セグメント別連結純損益 第2四半期実績(グローバルベース*)

■ 2015年度 第2四半期実績 ■ 2016年度 第2四半期実績

(単位：億円)



〈セグメント別業績概要〉

【2016年度第2四半期実績(前年同期比)】

■ 金属

- ✓ 北米鋼管事業 減益
- ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調

■ 輸送機・建機

- ✓ 海運市況 低迷、新興国市場 低迷
- ✓ リース事業 及び
米国建機レンタル事業 堅調

■ 環境・インフラ

- ✓ 海外発電事業 堅調
- ✓ 前年同期 再生可能エネルギー分野
におけるバリュー実現あり

■ メディア・生活関連

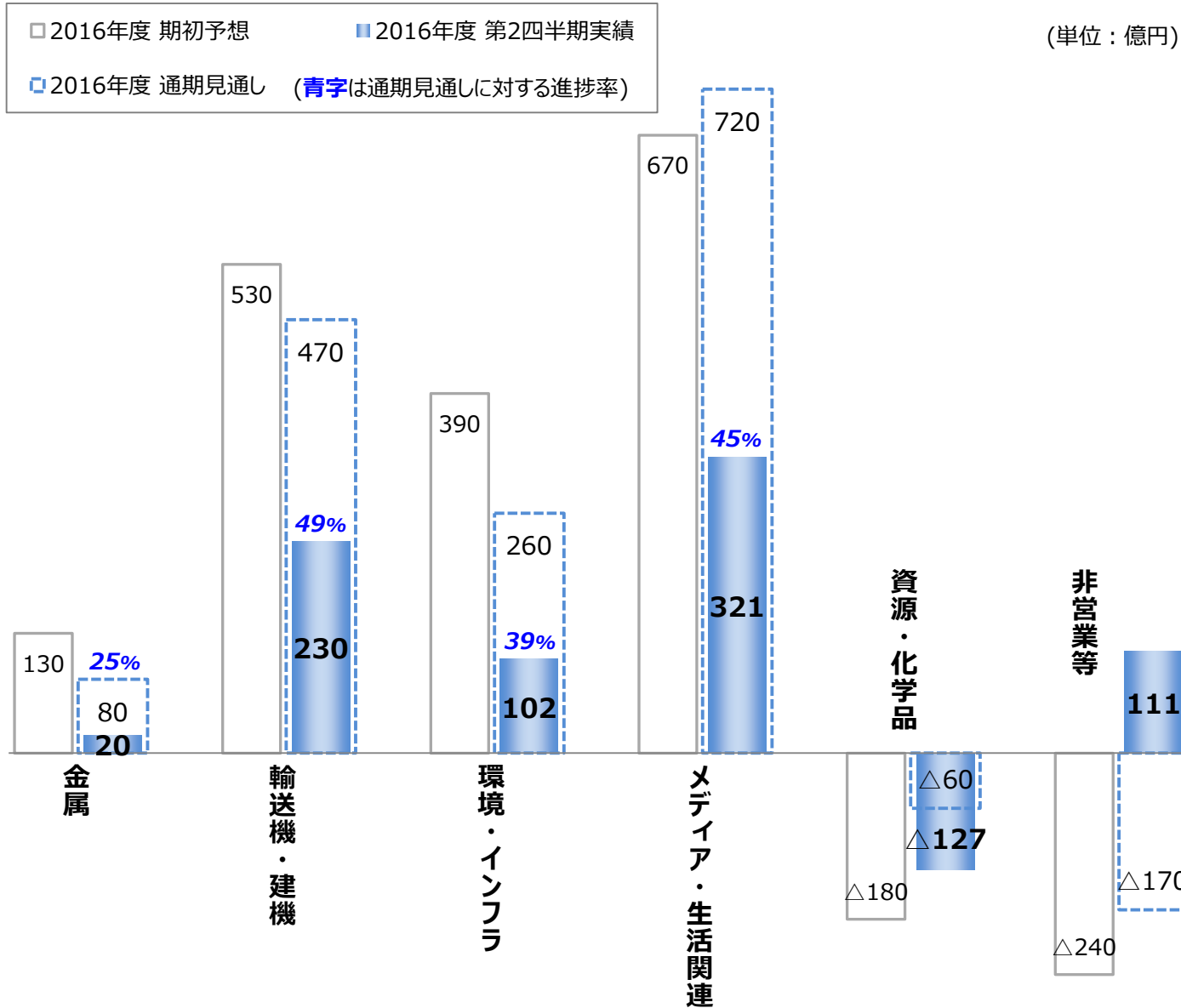
- ✓ 国内主要事業会社 堅調
- ✓ 前年同期 資産入替に伴う
バリュー実現あり

■ 資源・化学品

- ✓ 資源価格下落の影響
- ✓ ポリビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当あり
- ✓ 前年同期 事業再編益あり

* 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

8. セグメント別連結純損益 通期見通し(グローバルベース*)



〈セグメント別業績概要〉

【2016年度通期見通し】

■ 金属

- ✓ 北米鋼管事業 減益
- ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調

■ 輸送機・建機

- ✓ 海運市況 低迷、新興国市場 低迷
- ✓ リース事業 及び
米国建機レンタル事業 堅調

■ 環境・インフラ

- ✓ 電力新規大型案件 開発及び
建設の進捗遅れあり
- ✓ 海外発電事業 堅調

■ メディア・生活関連

- ✓ 国内主要事業会社 及び
不動産事業 堅調

■ 資源・化学品

- ✓ 資源価格が期初想定を上回って推移
- ✓ ボルビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当あり

■ 非営業等

- ✓ 期初予想に織り込んだ為替の影響
(約△100億円)を取崩

* 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値